



小規模保育園 よつばベビーひだまり ってどんなところ??

0～3 歳未満(2 歳児クラスまで)の乳幼児を対象とした、少人数制保育を実施している小さな保育園です。小規模保育園とは、2015 年に施行された国の「子供・子育て支援法」の取り組みの中で、小規模保育事業として始まった少人数制の認可園のことをいいます。認可基準のもと市町村から認可された保育所になります。

子どもの興味に寄り添う「手厚い保育」

よつばベビーひだまりの最大のメリットは、ひとりひとりに目を向けた手厚い保育が行われるという点です。配置される保育従事者の数は定員保育園で定められている数にプラス 1 名という決まりがあります。そのため、より細やかな配慮が期待できます。子どもたちを日々観察し、臨機応変に保育プログラムを変更することも可能です。小規模保育園ならではのフットワークの軽さが、子どもの気持ちや興味に寄り添う保育につながっています。

まだまだ個々を大切にしたい時期でもあります。“ひだまり”では少人数のクラス編成になるため、丁寧に対応することができます。少人数制なら時間にも余裕があり、それぞれのペースを尊重する保育が可能です。

よくある質問

Q: 小規模って普通の保育園より保育料が高いんですか？

認可を受けている保育園の料金は市民税の等級で決定されるので認可園であればそれに応じて一律です。

Q: 注文できる用品はどんなものがありますか？

お昼寝用コットシート 750 円、毛布 150 円、オムツ処理 300 円、おむつ 1400 円、おしりふき 200 円があります。

利用選択ができ、保育料とは別に実費負担となります。*食事時のお手拭きは毎月 50 円ご負担して頂きます。

Q: 一時利用できますか？

定員内で空いている日を使うことが可能です。直接、園へお問い合わせください。

ゆったりとアットホームな環境が魅力



すべての職員が一人ひとりに寄り添いながら深く関わるので、子どもたちもおうちにいるような安心感を感じることができます。「子どもと保育士」、「子ども同士」はもちろんですが、「保育士とパパやママ」ともコミュニケーションをとりやすい環境なので、日々の様子などもしっかりとお伝えすることができます。自分のパパやママが園にいる先生やお友達のことを「わかってきている」と感じると子どもたちも安心して園に通うことができます。

3 歳以降の預け場所の確保「連携施設」



小規模保育園には 0～3 歳未満という年齢制限があります。3 歳になると保育園・幼稚園を探すこととなりますが、小規模保育園に通っているご家庭には加点があります。卒園後の受け皿として連携施設を確保することは認可基準のひとつとなっています。現在の連携園→よつば体育幼児園(姉妹園)・りとせ相模大野園、まあむキッズ北口保育園・谷口幼稚園です。



Q:お散歩に行ったり、外にも遊びに行くんですか？

雨が降っていない限り、公園などへ出掛けます。戸外、自然の中での経験を大切にしています。お散歩によって、挨拶や交通ルールを覚えたり、自らお友達と手をつないで歩けるようになったり、そういった自主性が育めるメリットがあります！夕方にも戸外へ出ることもあります。

Q:年齢ごとの定員は何人ですか？

0歳児…2名 1歳児…8名 2歳児…8名 です。全体でも18名です。(年度によりクラスの受け入れ人数が変動します。)

Q:保育時間、延長保育時間は何時ですか？

保育時間：7：00～18：00

延長保育：18：00～19：00 (月極1時間5,000円、30分2,500円、スポット15分200円)

休園：年末年始

よつばベビーひだまり保育園が大切にしている保育は…

ひとりひとりを大切に保育していきます

一人ひとりきめ細やかな対応をし、子どもの気持ちや欲求を十分に受け止め、愛着関係、信頼関係を強めながら、月齢発達の段階に応じた人や物への関心や関わりが広がるように援助をします。優しさや思いやりも育てています。

たっぷりの愛情で保育します

愛情豊かに接し、安定した情緒の下、子ども達が安心して、くつろぎ、安らげるような園でありたい。ご家庭と連携を密に取りながら、ひとりひとり心身ともに健康な子どもに育つよう援助しています。

豊かな表現ができる子どもを育てます

小さい時から自由に考え、行動できる環境を配慮することが必要と考えています。自分で考え、工夫して遊べるよう 自由な空間 考えて使う玩具の提示を心がけ、強制や押しつけをせず、禁止言葉を少なくするよう生活しています。

月に1度程度 運動あそび 音楽あそびを取り入れております。(日程が変更になることもあります)

*別紙をご確認下さい。

ゆったりとした環境の中で

自然と触れ合える保育をします

自然とふれあう機会を持ち、五感に響く体験は保育の原点。郊外まで行かなくても、身近にたくさん自然があふれています。知識ではなく体験を広げる時期には、泥んこ遊びや水遊びはもちろん、植物や虫、風や光、香りへの興味も、遊びながら育ててあげ、保育士は自然とふれあう機会を積極的に作り、子どもたちが豊かな感性を育めるよう心がけていきます。

自園調理・食材にこだわり、「食育」にも力をいれます

子ども達が口にする食材は安心安全のものが大切です。子ども達が食に興味を持てるよう管理栄養士が工夫しメニューを作っております。提供する食事からも子どもたちの健康・身体づくりを行っています。そして、食への興味も広げていけるよう、収穫体験やクッキングなどを取り入れております。

★アレルギーへの対応はアレルギーマニュアルに沿って対応し、みんなと一緒に食卓を囲めるよう、なるべくアレルギー食材を入れないメニュー作りを行っています。現在卵を使用しないメニューとなっております。

保育目標

- ・あたたかさの中で楽しく過ごし、生活の基礎を身につけること大切にする。
- ・天気の良い日は、戸外で自由あそびを中心に元気いっぱい身体を使ってあそび、自然とたくさん触れ合い、様々なあそびを通し、豊かな感性を育て、健康的な身体づくりをする。
- ・一人ひとりきめ細やかな対応をして、優しさや思いやりを育てる保育をする。
- ・家庭・地域の子育て支援の更なる充実の支援ができる場所にしていく
- ・食育 自園調理・食材にこだわり、「食育」に力をいれる。

保護者の方々との緊密な連携

よつばベビーひだまり保育園では、保護者の方との緊密な連携を大変重視しています。日々の送迎時のやりとりを細やかに行うことを基本とします。保護者の方にも安心できる施設でありたいと考え、園とママパパで子ども達の成長を見守りたいと考えています。その他にも過度な保護者負担とならない範囲で、行事などの取り組みを行っています。現在、ICTシステムを導入し、保育の様子をドキュメンテーションでお伝えし、連絡等もスマホで行えるようになっております。

職員の姿勢

- ・子どもと向き合い、それぞれの子どもの個性を引き出します。
- ・自らが、プロの保育士、栄養士、調理担当であるという自覚をもち「よりよい育ちの支援」を目標としています。
- ・研修に積極的に参加し、常により良い保育を学び、園内研修も年間で計画し園の質の向上に努めています。
- ・株式会社ふぁみりあの5つの事業所中の1つのチームとして、全員がお互いに個性を尊重し、力を合わせ、子ども達の成長を支援していきます。

運営会社

株式会社ふぁみりあ

40年ほど前に子ども達へ“健康な身体作り”を基本に幼児教育施設として立ち上げられたことでスタートしました。

1982年 大和市南林間に「スポーツ幼児スクール」として創設。

1988年 「ケンジントン体育幼児園」と名称を変更。

2006年 株式会社ふぁみりあを立ち上げ

2006年 相模原市南区麻溝台へ移転。名称が『よつば体育幼児園』と変更。その後文京へ移転。

2016年 0～2歳児の認可外保育施設「保育室おひさま」を設立。

2017年 小規模保育施設よつばベビーおはなへ移行。

2017年 学童クラブわかばを卒園生保護者から運営を託される。

2019年 大和市小規模保育施設よつばベビーななせ新設。

2019年 相模原市小規模保育施設よつばベビーひだまり新設。

ご縁があり5つの施設へと広がっていきました。

乳児期から学童期まで、同じ方針の中で子ども達の成長を見守っております。

一人ひとりを大切に。

子どもたちが、『生きる力』『思いやり』を育み、そして、笑顔の溢れる保育園となりますよう、子どもたち一人ひとりの気持ちに寄り添う、丁寧な関りを繰り返しながら、ご家庭と一緒に子ども達の育ちを支えて参ります。

代表 岡本繭子